

## 令和2年度酪農教育ファーム活動 事業計画の変更について

令和2年7月9日  
一般社団法人中央酪農会議  
酪農教育ファーム推進委員会

### I. 令和2年度事業の考え方

#### 1. 令和2年3月30日に決定された活動計画における考え方（概要）

令和2年度の酪農・国産牛乳乳製品理解促進広報事業の考え方を踏まえ、令和2年度の酪農教育ファーム活動は、「酪農を通して食やしごと、いのちの学びを支援する」を目的に、認証を受けたファシリテーターが学校や教育現場等と連携しながら、酪農家の生き方や酪農及び生乳の特性等とともに、日本酪農と酪農教育ファーム活動そのものが既に持つ「持続可能な社会の実現」にも繋がる価値と役割について消費者等に直接伝える教育活動を推進することで、「酪農家を勇気づけ」、「産業としての酪農の価値向上を図り」、「仲間（新規就農者・後継者、理解者・応援団）を増やす」ことに繋げる。

現場での取り組みにおいては、飼養衛生管理基準の順守及び感染症防疫マニュアルに則った取り組みを徹底し、各会議や研修会等の場においては、引き続き日本酪農を巡る情勢や、指定団体の重要性、中央酪農会議の取組内容等について説明する時間を設ける。

なお、新型コロナウイルス感染症発生の状況を踏まえ、現場においては、感染拡大の防止に向けた政府の「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」等を踏まえて対応するものとする。

#### 2. 新型コロナウイルス拡大防止を踏まえた対応

1月に中国で発生した新型コロナウイルスは、世界各国に感染拡大し、わが国においても社会全体に深刻な影響が及んでいる。

全都道府県において緊急事態宣言の解除はなされたが、ワクチンや治療薬はまだ開発されていない中、令和2年6月30日に開催された本会議の第369回理事会にて、令和2年度の研修会等のうち①上半期の開催、②参集範囲が全国で不特定多数の者、③実技などが必要でWEBでの開催になじまないものは「休止」（ただしWEBでの開催で一定の成果が期待できる活動については、試行的実施を含めWEB開催に移行）すること等が決定された。これを踏まえ、令和2年度酪農教育ファーム活動の事業計画を、以下の通り変更する。

なお、現場での取り組みにおいては、本会議の作成した「新型コロナウイルスを想定した消費者交流活動に係る感染予防ガイドライン」を目安に、牧場毎に、牧場の状況に即した具体的な感染予防対策を実施していくよう周知徹底することとする。

## Ⅱ. 令和2年度活動計画変更案

### 1. 推進委員会等

- (1) 全国の酪農教育ファーム推進委員会の開催【2回、上期・下期】  
上期はWEB会議にて開催し、下期は状況に応じて判断する。
- (2) 指定団体担当者会議の開催【1回、2～3月】  
WEB会議にて開催する。
- (3) 地域推進委員会への支援・出席  
上期は地域に出向いての会議出席は休止とし、下期は状況に応じて判断する。
- (4) 酪農教育ファーム推進委員の各研修会等への視察・評価  
休止する。

### 2. 認証制度の適切な運用

- (1) 新規認証牧場・ファシリテーターの募集  
4月2日付で募集文書を発出済み。
- (2) 認証審査委員会の開催【1回・12月】  
状況に応じてWEB会議での開催も検討する。
- (3) 研修会の開催
  - ①認証研修会  
WEBによる研修会を検討する。  
検討に際しては、講師やファシリテーターの協力を得て、模擬研修会の実施や成果の検証等を行い、WEBによる認証研修会のプログラム作成を行う。
  - ②スキルアップ研修会  
休止するとともに、全ファシリテーターの認証期限を1年延長する。  
なお、来年度以降にWEBによる研修会を実施できるよう、プログラムの検討を行う。
- (4) 活動実態調査の実施  
**【上期分（4月～9月）を10月、下期分（10月～3月）を翌年4月】**
- (5) 認証牧場・ファシリテーターの管理
- (6) 地域推進委員会による牧場現地検査・審査実施する。

### 3. 実践者及び理解者の拡大・普及

- (1) 地域推進委員会における認証取得への取り組み・PR
- (2) 酪農家等関係者への普及
  - ①業界紙（誌）への記事広告掲載
  - ②酪農家等関係者が集まる研修会・イベント等におけるPR
- (3) 教育関係者への普及
  - ①実践研究集会【1回、10月11日（日）】

■共催：日本酪農教育ファーム研究会

■対象：日本酪農教育ファーム研究会会員及びファシリテーター

WEBによる研究集会の開催を検討する。

#### ②牧場体験研修会【1回、時期未定】

研修会は休止とする。

来年度以降の教員対象研修会の内容検討に資するとともに、新たな実践を生み出すためのノウハウ等を把握し普及するため、認証牧場に対して、学校と連携した活動の実施状況や内容等に関するアンケート調査を実施する。（感動通信へのアンケート用紙同封を想定）

### 4. 安全・衛生・防疫対策

(1) 安全・衛生（保険加入等）及び防疫対策の重要性の再周知と、最新の情報の伝達の伝達について、文書、ホームページ、facebook ページ、機関誌「感動通信」等により実施。

#### (2) WEB研修会の実施

ファシリテーター等を対象とした、改正飼養衛生管理基準及び「アニマルウェルフェアの考え方に対応した乳用牛の飼養管理指針」の周知等に関する WEB 研修会を実施する。

### 5. 広報

#### (1) 機関誌「感動通信」の発行【3回】

7月1日は休止し、10月1日・1月1日・3月31日は実施する。

(2) ホームページ及び facebook ページによる情報発信

### 6. 制作物

(1) 既存の教材等の増刷・配布

(2) 各種研修会用ツール及び新規認証者へのツールの制作

### 7. 他団体との連携

(1) 地域交流牧場全国連絡会

(2) 日本酪農教育ファーム研究会

(3) 全国農業協同組合連合会

(4) 全国酪農業協同組合連合会

(5) (公社) 中央畜産会

(6) (一社) Jミルク・乳の学術連合

以上